

【第1号議案】

令和7年度事業報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

法人の事業概要

医療を取り巻く環境は、年々厳しい状況が続き、特に医師不足は深刻な問題となっていることから、千葉県では、従来の医師確保対策をより強化し、医師の養成及び確保に関する支援を柔軟に行うため、平成20年度に「千葉医師研修支援ネットワーク（DCS-NET）」を開設し、この事業を円滑に推進するために、運営・管理を委託する機関として、千葉県、千葉大学医学部附属病院、千葉県医師会が協力し、平成20年2月15日に【特定非営利活動法人千葉医師研修支援ネットワーク（略称：NPO 法人千葉医師研修支援ネットワーク）】が設立された。

当法人は、医学生、研修医、医師及び看護師などの多様なニーズに応えられるような研修の場を提供・支援するために、

1. 専門医の養成及び確保事業
2. 臨床研修医の養成及び確保事業
3. 病院職員等の能力開発事業
4. 地方公共団体、病院等の調査研究に関する事業
5. 病院職員等の確保を図るための無料職業紹介に関する事業

などの各種の事業を展開し、成果を挙げてきたところである。

令和7年度事業実績報告

京成ホテルミラマーレ会場で開催した。

1. 通常総会の開催 令和7年6月25日

- 議案
- 1 令和6年度事業報告について
 - 2 令和6年度収支決算について
 - 3 令和7年度事業計画について
 - 4 令和7年度収支予算について
 - 5 役員の選任について

2. 理事会の開催

(1) 令和7年6月25日

- 議案
- 1 令和6年度事業報告について
 - 2 令和6年度収支決算について
 - 3 令和7年度事業計画について
 - 4 令和7年度収支予算について
 - 5 役員の選任について

(2) 令和8年3月9日

- 議案
- 1 令和7年度収支補正予算について
令和7年度事業経過報告

- 2 令和8年度事業計画について
- 3 令和8年度収支予算について

3. 監査会の開催

令和7年5月29日及び6月3日に監事2名により、NPO 法人千葉医師研修支援ネットワーク事務局ほかでそれぞれ監査が実施された。

- 1 令和6年度事業報告について
- 2 令和6年度の会計処理について

監査の結果は、「役員の業務執行は、適切に行われているものと認めます。収支決算書、貸借対照表及び付属明細書等の財務状況は、適正に処理されていると認めます。

財務状況では、令和5年度の赤字に対して令和6年度は若干の黒字を計上しており、資金収支等は運営に支障のない状況にあると認めます。しかしながら、より安定した運営を目指して引き続き財務状況の改善を図るとともに、正会員、賛助会員、寄付会員の加入促進及び行政からの支援をより一層働きかけるべきと考えます。

業務の執行状況は、新型コロナウイルス感染症の影響はなくなり、ハンズオンを含む各種セミナーの開催数は30回となりました。

千葉県は、臨床研修医の確保・育成で成果を上げており、次に専攻医を見据えた取組として、総合診療領域では、専攻医向けハンズオンセミナー・オンラインセミナーを実施したこと、さらに、常時研修可能なコンテンツを YouTube にアップするなどの取り組みを行っています。また、小児科領域では、オンラインセミナーを実施したほか、千葉県小児科医キャリアネットワーク設立に向けた取組を進めるなど、柔軟で効果的な事業実施に努めた点は評価できます。

令和7年度は、総合診療領域及び小児科領域にとどまらず、広く専攻医の確保・育成に向けた全県的な取組を進めることを求めます。」との意見があった。

4. 運営委員会の開催

運営委員会を開催し、法人の活動などについて3月末までに9回協議を行った。

4月25日、5月20日、6月16日、7月28日、9月4日、10月21日、12月12日、1月20日、3月10日

主な議題は、専門研修と専攻医の確保のための（特に外科、小児科及び総合診療等）協議・検討を行った。

5. 利用会員等の加入促進

利用会員、ふるさと医師会員、登録医師・登録研修医への医学生・研修医・医師等の加入推進を図るためパンフレットを作成し関係機関を経由し配布した。また、ホームページによる広報を行うとともに、各種セミナー等開催の都度、「積極的な勧誘を行うなど幅広く広報を行った。さらに各種助成やセミナーの特典の付与等を行った。

(1) 利用会員

4, 303人

(令和7年4月1日～令和8年3月31日までの新規登録者数：538人)

- (内訳) 医学生：910人（千葉県出身者185人、県外出身者725人）
 臨床研修医：716人（1年目370人、2年目346人）
 専攻医：889人
 医師：1,788人
- (2) ふるさと医師会員（医学生）
213人
 （令和7年4月1日～令和8年3月31日までの新規登録者数：99人）
- (3) 医師・研修医登録会員
749人
 （令和7年4月1日～令和8年3月31日までの新規登録者数：18人）

6. 正会員及び賛助会員の加入促進

法人の運営及び活動を強化するためには、正会員及び賛助会員の加入が必要不可欠であることから、県内病院への加入案内、各団体への加入依頼などを行った。

- (1) 正会員 79 会員 (67 病院、12 診療所)
 (2) 賛助会員 8 団体

7. ホームページの利用状況 [令和7年4月1日～令和8年3月31日]

- (1) 千葉医師研修支援ネットワーク
226,187 件 (231,290 件)
- (2) キャリアアップ就職支援センター（上記（1）の内数）
215,559 件 (219,642 件)
- (3) 千葉県地域医療支援センター
7,103 件 (7,027 件)
- (4) 千葉県ドクターバンク
2,163 件 (2,198 件)
- (5) 千葉県シルバードクターバンク
723 件 (1,022 件)
- (6) 女性医師等就業支援相談窓口
773 件 (899 件) ※()内は、前年度の件数

8. 重点事業実績について [令和7年4月1日～令和8年3月31日]

- (1) 臨床研修医養成確保事業

① 病院見学サポートの運用

臨床研修医及び専攻医の千葉県内病院への確保を図るため、県内病院の見学を希望する医学生や研修医に対し、見学に係る病院へのアポイントや見学時の交通費助成などのサポートを行った。

※3月末時点での見学利用者数は、昨年実績に比べ270名増加となっている。

過去最高の人数

見学利用者 延べ 1,561 名 (1,423 名) 見学先病院数 48 病院 (48 病院)

- ・県内大学生 357名(324名)、県外大学生 1,113名(1,012名) *
- *県外大学生の 1,113名のうち、
千葉県出身 559名(544名)、県外・国外出身 554名(468名)
- ・医師、研修医ほか 91名(87名)

※()内は、前年度の件数

② 臨床研修ガイドブック

千葉県臨床研修ガイドブック 2025 を希望する医学生等に配布した。
597件(482件)

(2) 専門医養成確保事業

医師・研修医等対象の研修会、研究会、技術向上研修会等を積極的に支援し、共催・後援事業として実施した。

① 第20回千葉県臨床研修指導医養成講習会の開催(11月15日、16日)

受講者 23名

② 千葉県病院見学バスツアー5回

千葉県地域医療支援センターの事業の一環として、修学資金を受給している医学生ほかを対象に、地域医療、地域病院を実地に体験することにより、理解を深め、魅力を発見するためのバスツアーを5回実施した。

○8月30日(土) 訪問先病院等

東千葉メディカルセンター、さんむ医療センター、東陽病院
参加学生7名

○10月25日(土)

国保富山病院、亀田総合病院
参加学生10名

○12月20日【小児科施設】

松戸市立総合医療センター、千葉大学医学部附属病院
参加学生15名

○2月7日(土)

君津中央病院、千葉県循環器病センター、塩田記念病院
参加学生9名

○3月25日(水) 高校生対象

高校生15名、修学資金受給者(医学生)4名
大多和医院、いすみ医療センター、季美の森リハビリセンター病院

③ 第10回 Chiba Clinical Skills Boot Camp (12月7日)

会場：ペリエホール

参加者：臨床研修医ほか21名 視聴者20名程度

(前年度実績：臨床研修医19名、視聴者50名程度)

県内臨床研修病院の臨床研修医のキャリアアップおよび交流を目的とし

て開催した。四種類のブースで指導医が研修医に対しハンズオンでの多面的なレクチャーを実施し研鑽を図り、その後シンポジウムを実施し、それぞれの専門的な立場又経験に基づく、示唆深い回答があった。

A「胸痛患者で診るべき Hi-Phy-Vi」

(坂本壮 総合病院国保旭中央病院 救急救命科)

B「“転んだ後のシーネ” ～骨折診察&固定～」

(関 美月 亀田総合病院 救命救急科)

C「RUSH を現場で迅速にできますか？」

(堅 良太 東京ベイ・浦安市川医療センター救急科)

D「めまいの診断戦略-Physical Examination 編」

(鋪野紀好・田村弘樹 千葉大学医学部附属病院 総合診療科)

シンポジウム「～ジェネラリストから学ぶ～ 身体診察をどう学び、どう実践するか」

(座長 鋪野紀好 千葉大学医学部附属病院総合診療科)

※ アンケート結果 (別添参照)

④ 第8回周産期・新生児スプリングフェスティバル (3月15日)

会場：ポートプラザちば

参加者：新6年生35名

第1部 「母体急変時の初期対応：京都プロトコール2020」を中心に、急変への気づき、母体急変対応について、座学やスキル実習、シミュレーションを研修した。

【参加者24名】

第2部 県内の周産期母子医療センターの9病院が参加してランチョン形式でそれぞれPRを実施した。 【参加者35名】

第3部 すべての分娩に、新生児蘇生法を習得した医療スタッフが新生児の担当者として立ち会うことができる体制を目標として、新生児蘇生法(NCPR)を研修した。

【参加者30名】

⑤ 医療技術研修事業等

ハンズオンセミナーを含め、セミナーは28回を実施した。

ほかASSETを1回実施した。

合計回数 28回 受講者436名、ASSET1回32名

(前年度は29回 受講者532名、ASSET1回32名)

⑥ 総合診療領域セミナー等

専攻医の確保・育成のため、領域ごとに専門領域協議会の立ち上げを目指しているところであるが、先駆的に設立されている「総合診療領域連絡協議会」が本年度の事業として、次の2つのものを実施した。さらに、専門研

修オンラインセミナーを民間委託により、小児科、総合診療、外科で延べ3回開催した。

ア「腹部ハズオンエコー」

講師 井上 将法 先生（千葉大学医学部附属病院消化器内科）

6月21日 参加者6名

主に臨床研修医を対象に基本的な内容で実施した。

9月20日 参加者6名

主に専攻医・医師を対象にある程度高度な内容で実施した。

いずれも受講生からは高い評価を得た。

イ「心エコーハズオンセミナー」

講師 江口 紀子 先生（千葉大学医学部附属病院循環器内科）

10月19日 参加者6名

ウ 専門研修オンラインセミナー

1) 5月17日「小児科専門研修オンラインセミナー」

参加施設 基幹プログラムをもつ13病院

参加者 臨床研修医3名、医学生55名

2) 6月8日「総合診療専門研修オンラインセミナー」

参加施設 基幹プログラムをもつ6病院

参加者 臨床研修医6名、医学生35名

3) 11月16日「外科専門研修オンラインセミナー」

参加施設 基幹プログラムをもつ7病院

参加者 臨床研修医8名、医学生63名

アンケート結果（別添参照）

⑦ 臨床研修医オリエンテーション IN CHIBA

令和8年4月から千葉県内の病院で医師臨床研修を開始する医学生ほか、基幹型臨床研修病院のプログラム責任者等の参加を得て開催予定であった。準備作業として、会場の確保や県、県医師会を始めとする関係者との調整を行ったところ、開催期日等の調整が整わず中止になった。

（3）受託事業等

① 情報提供・情報収集・相談業務等

a 新・専門医制度への対応

29年度から始まった「新・専門医制度」の基幹・連携病院検索、プログラム検索、1次・2次・追加の各募集状況のリアルタイム情報提供を円滑におこなうため、県からの情報提供を運営委員会の審議・検討を基に、「専門医検索システム」を新たに開発し、29年10月から運用を開始、専攻医を目指す研修医等から好評を得ている。

b 県内の医療機関における臨床研修情報等を法人ホームページ上で閲覧、検索可能となっており、その利活用を通じ、県内病院での研修の促進を図った。

・臨床研修病院の案内…………… 40 病院

- c 主に県内で開催される医師、医学生を対象とした各種講演会、研修会、医学セミナー等の開催に関する情報の提供

県内の臨床研修病院や千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター等で開催する多くのセミナー、カンファレンス、講演会、研修会等について、医師、研修医、医学生の参加勧誘を図るため、ホームページや各種リーフレットの送付、当法人利用会員等に向けての SNS 等で適時的確な情報提供を行ったことにより、多くの医師、研修医、医学生等の参加が得られた。

なお、県外開催のセミナー、関係団体の行事や外部ホームページの積極的活用による情報提供にも注力した。

- d 県内医療機関、就業に関する情報提供及び医師、医学生対象の支援事業に関する情報提供

ホームページの更なる充実を図り、県内全域の臨床研修病院情報、研修医・各診療科医師募集に係る情報、病院診療科毎に履修できる研修プログラムの閲覧・検索、県内、県外で開催される各種セミナー、数多くの医療技術研修等の開催案内・開催結果情報、病院見学や医師募集の面談・面接のサポート情報等を適時的確に情報発信するとともに、各種リーフレット送付やメール等による情報提供も行った。また、電子メールや電話による各種相談に対する迅速な対応を行った。

- e 県内における医師不足状況等の把握及び医師不足病院の支援

千葉県、千葉県医師会、県内医療機関等との密接な連携を行い、県内の医師不足に係る各種情報把握に努めた。

なお、システムの活用や各種イベントの機会を捉えて、県内外の研修医、医師、医学生について、利用会員やふるさと医師会員、医師・研修医登録会員への登録を推進した。この登録情報をもとに本県における地域医療を志向する医師等の把握にも努めた。

また、システムを活用し、県内医療機関の求人情報や研修プログラムを集約、公表し、県内における医師確保の支援を行うとともに、千葉県ドクターバンク事業や利用会員等登録情報をもとに、求職中またはキャリア形成を望む医師等に適切な医療機関への就業斡旋を行った。

- f 情報発信と相談への対応

利用会員、ふるさと医師会員、医師・研修医登録会員に登録した医師、医学生や、医療機関等関係機関等へ医師確保対策等に関する多くの情報を適時、的確にホームページやメール、パンフレット、リーフレット等で発信、提供するとともに、キャリア形成等を含め個別の相談に対応した。

また、ホームページ等を活用し、千葉県や県内自治体・団体の医師確保対策、千葉県ドクターバンクによる県内医療機関の求人情報、求職情報等を

発信した。

② 合同説明会

新型コロナウイルスの5類移行により病院見学や民間主催の説明会も再開しているが、全県の臨床研修病院を対象としたオンライン合同説明会は今後とも需要があり必要な機会と捉え、時間帯や開催方法を改善して開催した。

a 「Web ちば臨床研修病院ナビ 2025 夏」

- ・開催日 令和7年5月31日（土）
- ・開催方法 Zoom
- ・参加病院 21病院（20病院）
- ・参加者数・のべ面談者数 126名・325人（122名・304人）

b 「Web ちば臨床研修病院ナビ 2026 春」

- ・開催日 令和8年3月7日（土）
- ・開催方法 Zoom
- ・参加病院 25病院（23病院）
- ・参加者・のべ面談者数 134名・443人（122名・328人）
（ ）内は、前年度の実績
※アンケート結果（別添参照）

c 「民間主催のレジナビ」

全国規模で開催される民間主催説明会において、千葉県ブースを確保し、県内医療機関が出展することにより、多くの医学生、研修医が医療機関と面談した。

1) 「レジナビフェア 2025 東京」

- ・開催日 令和7年6月29日（日）
- ・会場 東京ビッグサイト
- ・出展病院数・面談者数 14病院1,010人（13病院 697人）

2) 「レジナビフェア 2026 東京 春」

- ・開催日 令和8年3月15日（日）
- ・会場 有明 GYM-EX
- ・出展病院数・面談者数 14病院1,059人（14院 1,106人）

③ システムの開発、維持管理、運用等

各システムのホームページやシステム管理及びメール送受信の的確な運用のため、サーバ賃借・管理運用（ドメイン維持管理、SSL 認証取得を含む）、保守、運用を行った。

a 対象システム

- ・千葉県医師キャリアアップ就職支援センターシステム
- ・千葉医師研修支援ネットワークシステム

- ・ NPO 法人千葉医師研修支援ネットワークシステム
- ・ 新専門医研修プログラム等検索システム
- ・ 千葉県地域医療支援センターシステム
- ・ 千葉県ドクターバンクシステム
- ・ 千葉県シルバードクターバンクシステム
- ・ 女性医師等就業支援相談窓口システム
- ・ メールアウトソースサービス
- ・ 千葉県小児科医キャリアネットワークシステム（開発）

b システムの運用、維持管理の内容

- ・ ホスティング、保守、運用支援
- ・ Web サイトドメイン取得・維持、SSL 認証取得等
- ・ メールサービス ドメイン利用、管理

④ 県内医療機関への就職・定着支援（就職支援機能）

a 無料職業紹介事業（千葉県ドクターバンク・シルバードクターバンク）

平成 24 年 1 月に厚生労働省の許可を受け開始した無料職業紹介事業（千葉県ドクターバンク）（シルバードクターバンクは、平成 25 年 2 月）については、ホームページ掲載や県内医療機関、全国の医師に対し、積極的な広報を行った結果、数多くの求人、求職情報が登録されるに至っている。

情報の速やかな登録、更新等、システムの日常の保守管理業務を適切に行うとともに、より利用しやすいシステムとするための改良を加えてきたところである。

① 医療機関の登録（過去 2 年間に更新のあったもの）

登録医療機関 38 件（うち 7 年度新規：19 件）
有効求人件数 104 件（うち 7 年度新規：50 件）
有効求人数 59 名（うち 7 年度新規：59 名）

② 医師（求職者）の登録

12 名（うち 7 年度新規：6 名）

③ 医療機関から医師へのスカウト 7 年度新規：35 名

④ 医師からの応募 7 年度新規：0 名

⑤ 就職（採用）決定 7 年度新規：0 名

b 女性医師等就業支援相談窓口

千葉県内医療機関で働きながらの育児や社会復帰を考えている女性医師等をサポートするため、平成 24 年 4 月から当法人に設置し運用を開始した女性医師等就業支援相談窓口事業について、ホームページ開設、リーフレット配布等による積極的な広報を行い、相談事業の充実、円滑な推進を図った。

相談数 5 件（内訳） 育児、進路・就職 3 件 その他 2 件 計 5 件

※ドクターバンク事業については、県医師会とも連携しつつ、日本医師会ドクターバンクとの連携の検討を進める。

⑤ キャリアアップセンターの管理

千葉県との協定に基づき、千葉大学医学部附属病院内に整備されたセンターの医療従事者の一般利用について、その利用に伴う千葉大学との調整、軽易な設備・機器のメンテナンス、修繕及び必要な消耗品の購入、補充等を行った。

センターの利用及び貸出利用数 21 件

⑥ 広報業務（ポスター・リーフレット等の作成・送付）

当法人の紹介、各種事業、キャリアアップセンター等の周知を図るため、各種のパンフレット、リーフレット等を作成し、医療機関、医師、研修医、医学生等に、関係機関や県内外で開催するセミナー等において配布し広報を行った。

- ① 千葉県臨床研修病院ガイドブック
- ② 千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター案内冊子
- ③ 各種セミナー案内リーフレット
- ④ 各種法人事業紹介リーフレット